

# 【茨城県から世界へ！ JICA 海外協力隊】

## 2022年度3次隊 茨城県各自治体への表敬訪問

国際協力機構（JICA）は、来年1月～2月に茨城県から3名のJICA海外協力隊員を2022年度3次隊として派遣いたします。隊員は、任国への出発を前に、下記のとおり茨城県副知事、及び市長、副市長を表敬訪問いたします。つきましては、貴社媒体にて、茨城県出身のJICAボランティアを県民の皆様にご紹介いただけましたら誠に幸甚です。

### 1. 表敬訪問日程

表敬先	日時・場所	表敬者（敬称略）
茨城県 副知事 横山 征成	2022年12月15日（木） 11:30～12:00 副知事室	同県 JICA 海外協力隊員 3名 扇澤 舞、寺崎 拓海、勝村 貴子
つくば市 副市長 松本玲子	2022年12月19日（月） 10:30～11:00 応接室	扇澤 舞、寺崎 拓海
水戸市 市長 高橋 靖	2022年12月21日（水） 10:30～11:00 市長室	勝村 貴子

### 2. JICA 海外協力隊 リスト

隊員区分	氏名	職種	国名	配属先
青年海外協力隊	おうぎさわ まい 扇澤 舞	青少年活動	ジョージア	スクール・リソース・ オフィサー事務所
【活動内容と抱負】 日本国内の枠組みにとらわれずに自分の活動の範囲を広げていきたい・海外で児童の福祉や教育に関わる活動をしたいという思いが強まり、今回協力隊に参加させていただくことになりました。任国であるジョージアでの配属先は、子どもたちが安心・安全に生活し、健全に育つことができる環境を整えるための活動を行なっている機関であり、私が国内で携わっていたスクールソーシャルワーカーの活動内容とも重なる部分が多いと感じています。自分が持っている知識・経験を活かし、またジョージアの教育・福祉制度の在り方からも学びながら、現地の方々と一緒により良いものを創りあげていきたいと考えています。				
青年海外協力隊	てらさき たくみ 寺崎 拓海	コンピュータ技術	ケニア	カプサベット・ナンデ ィ上下水道会社
【活動内容と抱負】 大学時代にベトナムで教育支援のボランティアに参加した際に、開発途上国の貧困の現状を実際に見て、自分にも何かできないかという想いから協力隊を志望しました。ケニアでは、上下水道会社に配属され、地理情報システムを活用した水道配管地図の作成や、データ管理、地図活用法の指導などを行います。前職のITコンサルタントとしての経験と知識を活かして、IT技術の力で途上国の水道インフラの整備に貢献したいです。				

海外協力隊	かつむら たかこ 勝村 貴子	障害児・者支援	ルワンダ	フレンズ・オブ・ ハンディキャップ・ル ワンダ
<p><b>【活動内容と抱負】</b>  海外協力隊に参加することは私の夢でしたので、2020年度1次隊に合格できた時の喜びは、今でも忘れることができません。しかし半年後にはコロナ感染拡大という未曾有の出来事があり、訓練開始直前に派遣が停止されました。とても残念でなりませんでしたが、職場に復帰し日常生活を送る中で、やはり海外協力隊として活動がしたいという、自分の夢を再確認することができました。派遣再開に向け、語学学習やJICA主催のセミナー等の準備に努めてきました。このコロナという災害を超え、未来のために人と人との繋がりを築く活動に深く携わっていきたいです。</p>				

### 3. JICA 海外協力隊とは

JICA 海外協力隊は、日本政府の ODA（政府開発援助）の一環として、独立行政法人国際協力機構（JICA）が実施する事業です。「開発途上国の経済・社会の発展、復興への寄与」、「異文化社会における相互理解の深化と共生」、「ボランティア経験の社会還元」を目的としています。

日本国籍を持つ 20 歳～69 歳の方が対象となり、派遣期間は原則 2 年間。日本で培った知識や経験を活かし、開発途上国と国際協力の志を持った方々が、現地の人々とともに生活し、草の根レベルで開発途上国の抱える課題の改善・解決に貢献します。

詳細は、JICA 海外協力隊 Web サイトをご覧ください。

<https://www.jica.go.jp/volunteer/index.html>

<b>【本件に関する問い合わせ先】</b>
JICA 筑波 国内協力員 河津 邦宣 TEL : 029-838-1117 E-mail : <a href="mailto:Kawazu-Kuninobu3@jica.go.jp">Kawazu-Kuninobu3@jica.go.jp</a>